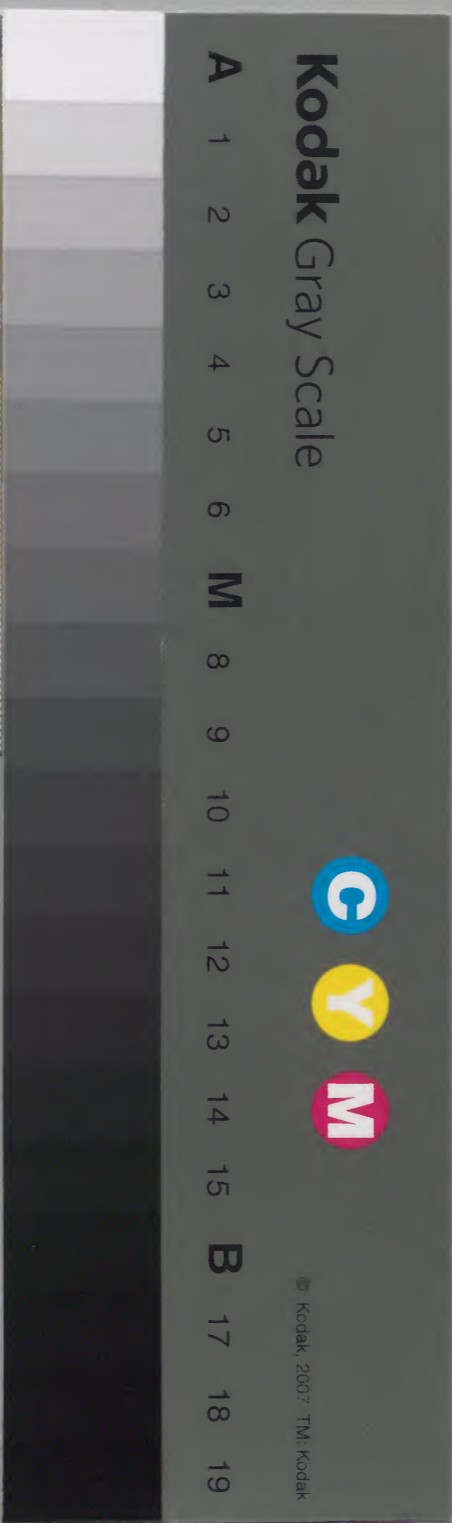


羣書類從

三百六十五

庫	文	閣	內
三	六	八	和
五	函		
二			
三			
架			

內閣文庫	
番號	和 18690
冊數	666 (450)
函號	215 3



群書類従巻第二百六十一

檢校保己一集

飲食部二

檢校立見集巻百五十四

飲食部一

帝室書御膳圖

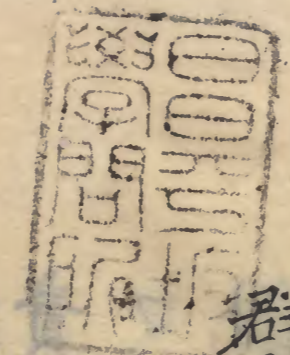
向御膳圖

公卿ノ有ノ様

殿上人有ノ様

同ノレキツナタカツキニ本ノイ

群書類從卷第三百六十五



淺草文庫

檢校保巳一集

世俗立要集第百五十四殘欠沙門正玄集記

飲食部一

帝王畫御膳圖

同御盤圖

公卿ノ肴ノ様

殿上人肴ノ様

同ヲシキツチタカツキ二本ノヤウ

卷三百六十五

衝重ノ様

藏人所瀧口ノマチサカナ

公変ノシキサカナ

武家ノ看ノ様

ハシニテサカナクハサル変

貴人御前ニテサケノム変

食汁ノヤウ

貴人ノ御マヘニテマセクタモノツフヘキ様

ワタイリ食ヘキ変

別足ノ変

看ノナスヒキル変

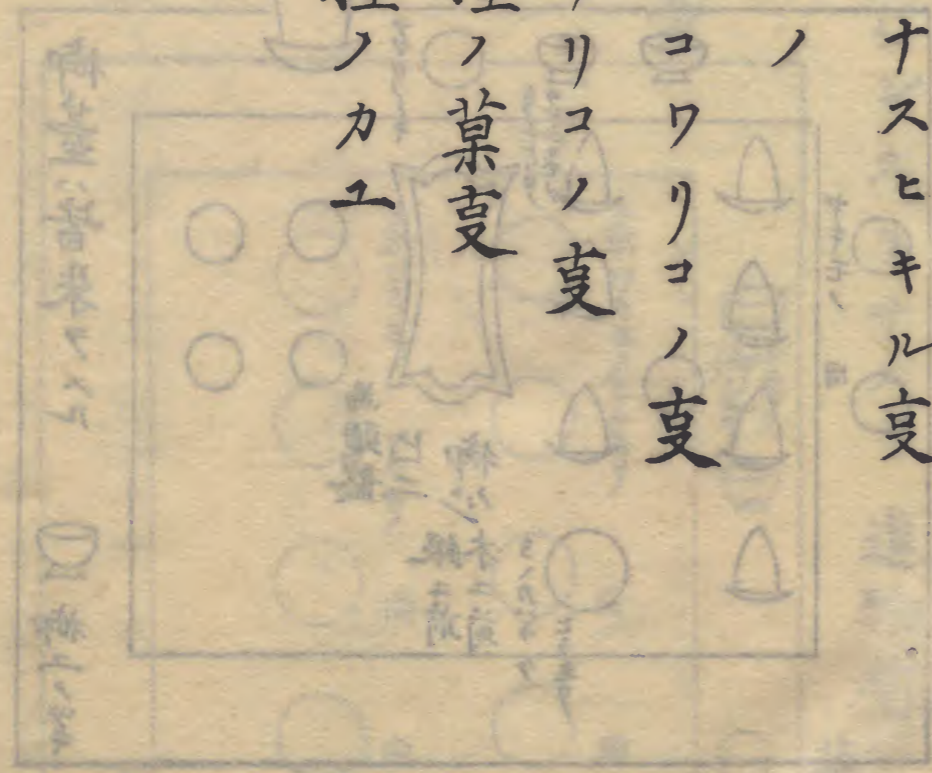
夕ヒノ

テハコワリコノ変

大ワリコノ変

七種ノ菓変

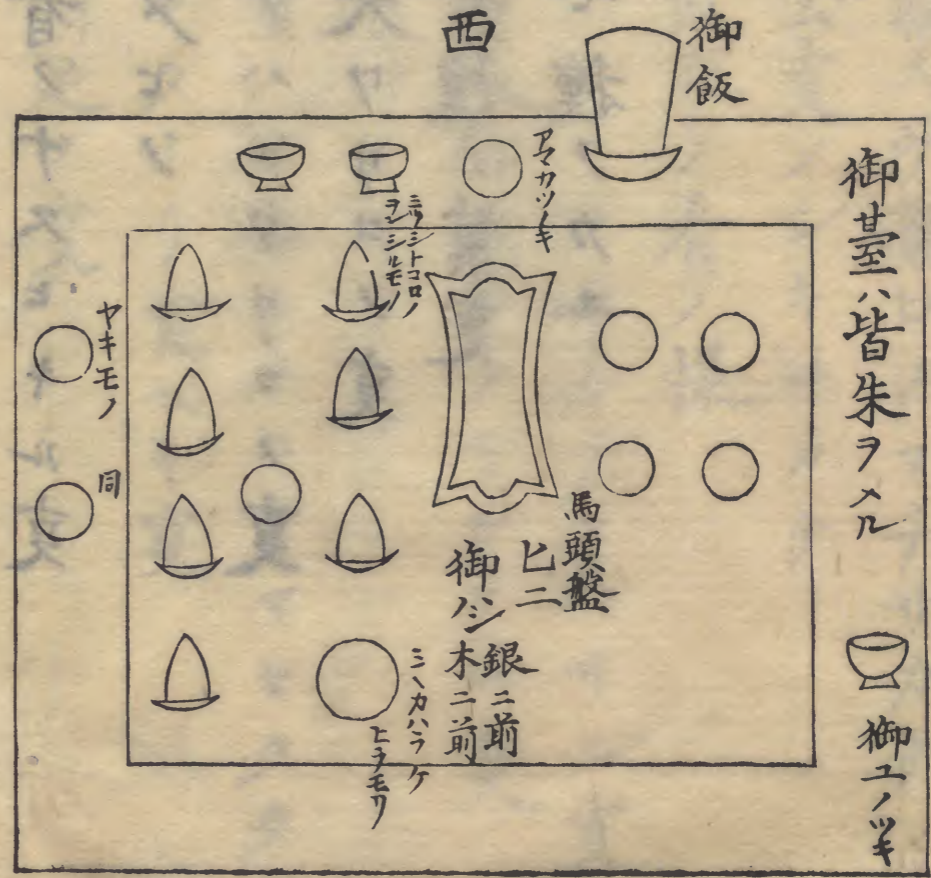
七種ノカユ



一帝三皇御前ノ...

卷三十五

一帝王晝御膳ノヤウ

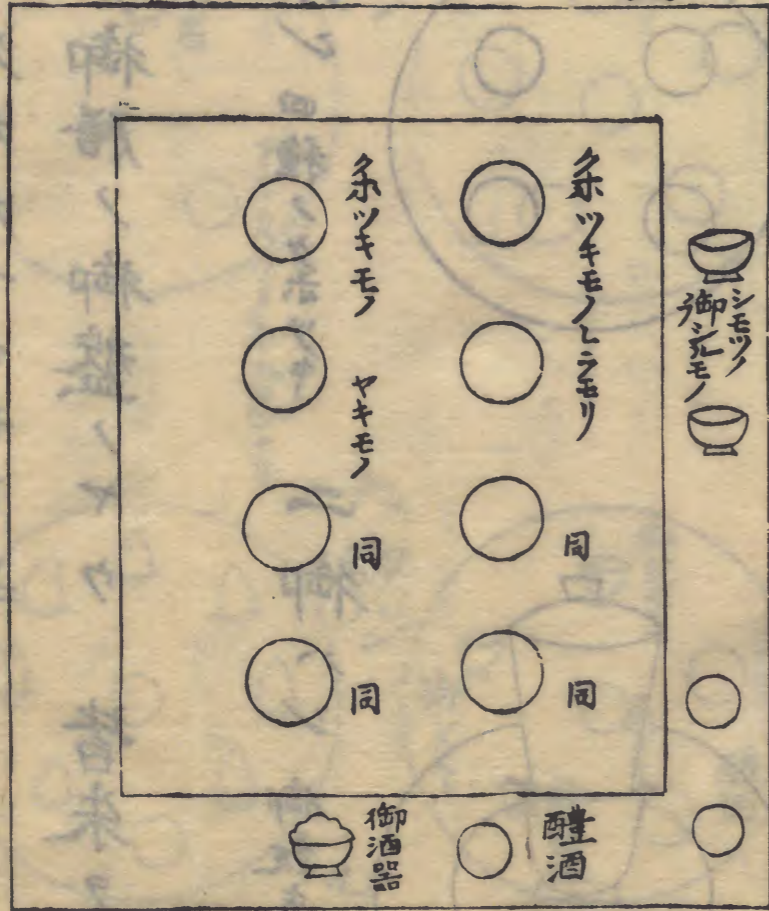


御臺ハンスラサス

進物所

蒜同

二御臺盤



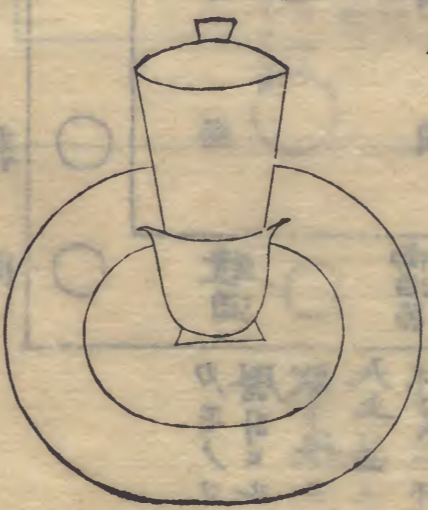
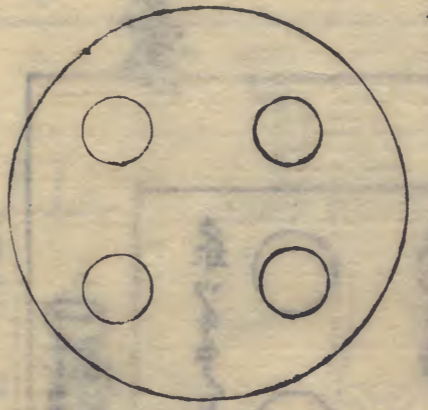
カモノマツリノ日内
膳司ヒル四坏一レヲ
献ト根ニ坏葉ニ坏各
大土器ニモル但根一
坏葉一坏合ニ坏供之

御精進ノ時御菜十種シル物ニ坏也白瓷自余ツ

子ノ如也又御神事佛事アヒナラフ時ハ精進奠
味スヘクススヘマセト号

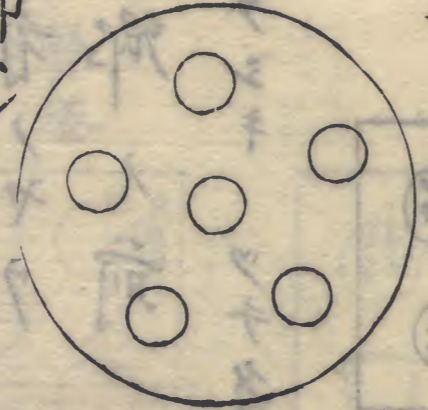
一同晝ノ御膳ノ御盤ノヤウ 皆朱ヲサス

一御ハン 四種ノクホツキ
二御ハン 御飯事 中御ハン

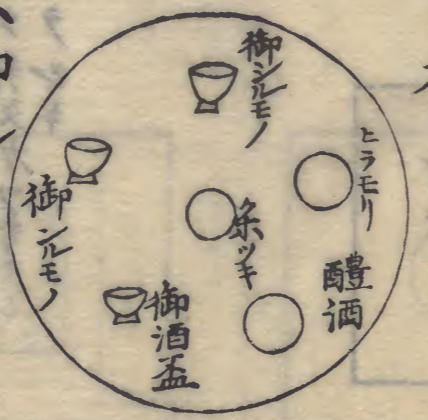


蓋盤ト号
カイハン

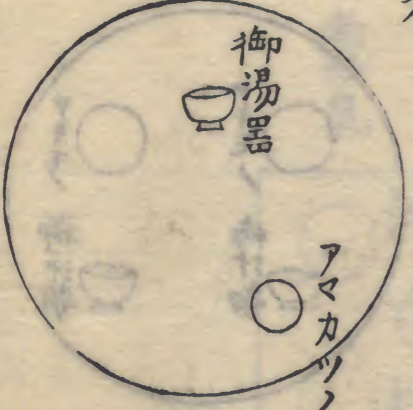
三御ハン



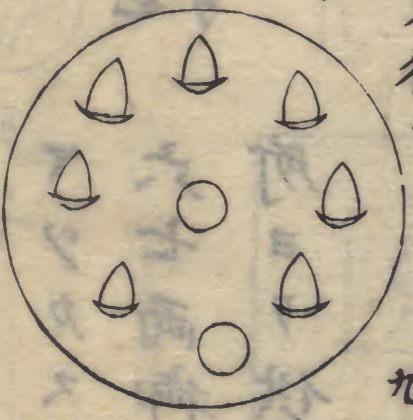
四御ハン



五御ハン



六御ハン



九種

タカモリ七ヒラモリ
一ムナシキ器一

自六月一日至于
七月晦日造酒司
コレヲ献ス小土器
ニモル

已上自御膳宿コレヲ供

七御ハシ



重土器也
菱盤ト号

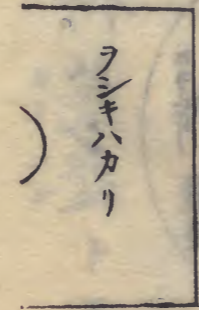
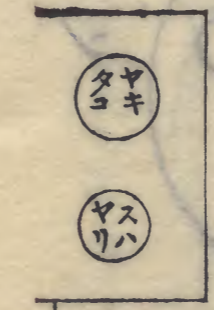
マツカスカナリ
六七両御盤御厨子
所ヨリ供之

一酒肴ノヤウ

二本
ツチタカツキ
ラシキ

一公卿ノ前

二枚



マツカスカナリ

六七両御盤御厨子

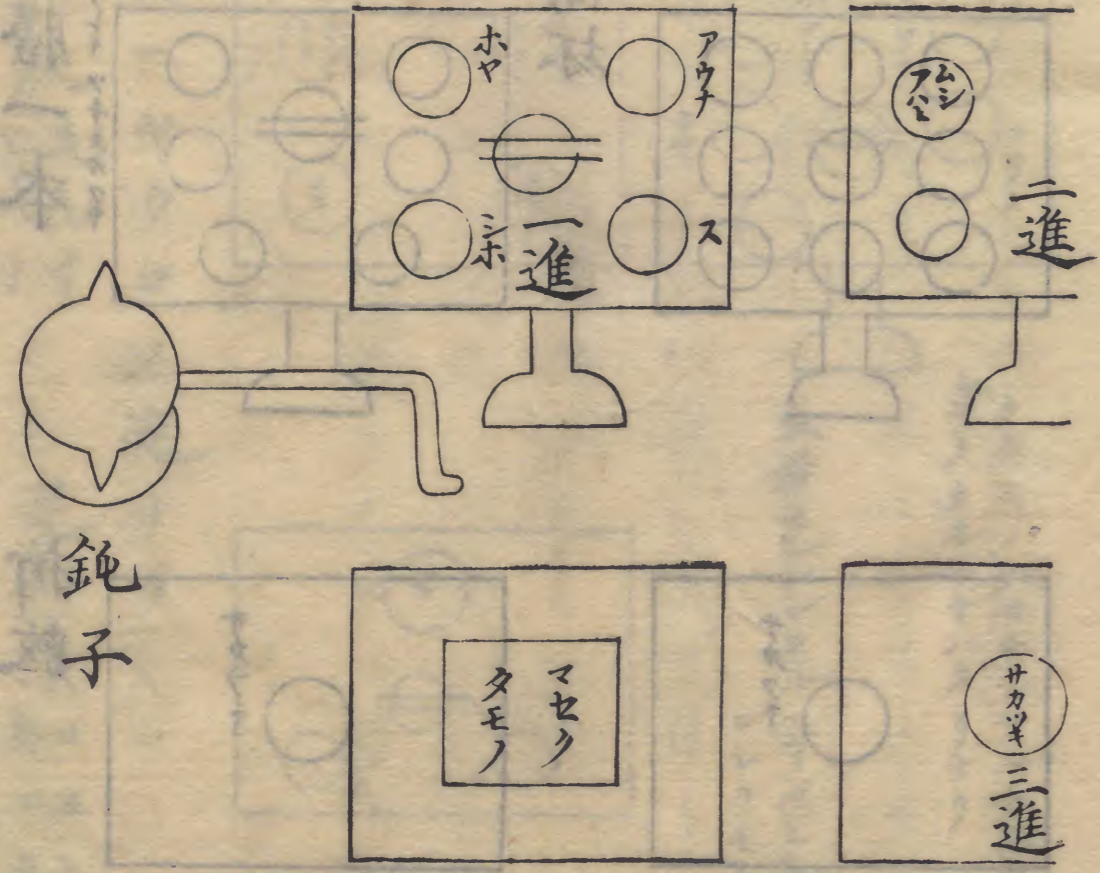
所ヨリ供之

二本
ツチタカツキ
ラシキ

二枚

ラシキ
ツチタカツキ

蟹塔
老海鼠

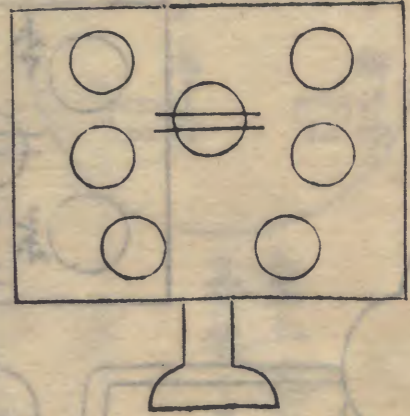


鈍子

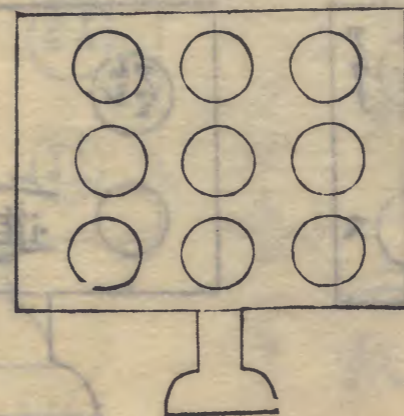
サカキ
三進

一 殿上人膳一本

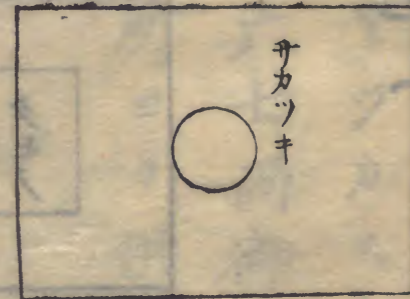
ワシキツチタカツキ



一 折敷高坏



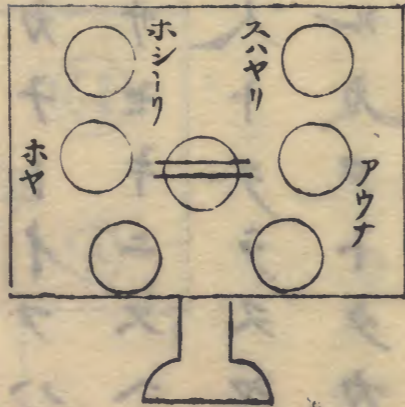
折敷



二進

三進

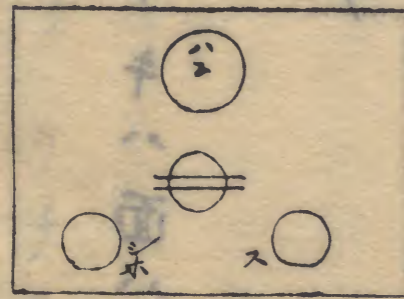
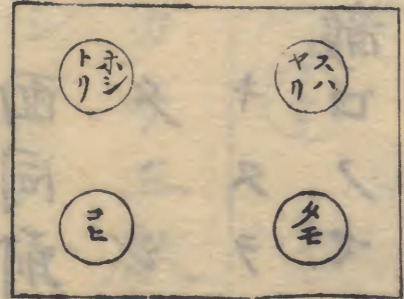
ハシ
中
ホヤ
ホヤ



クヌモノヲモキイサルトキハ
ホノタカツキハカリナリ

主君モシハシカルヘキマラウトニ

コレヲモチユル



丸スヘヤウコノ定ナリ

面折敷 長九寸 弘八寸

足折積高 口五寸六分 二寸八分

白平

一 面 此 スヘテコフンラスリテウツシハナ
ラモテトラヤマラカク

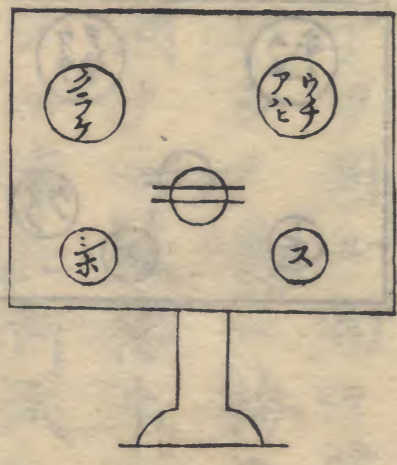
面同前

タ、シ 羨麗ノトキハ面ハカリニ白平
キヌラ、ス

一 藏人所瀧口ノマチサカナ

マチサカナトイフハ車ヲスル日イマタヨラヌ
サキニサセキニスヘマウクルナリ高ツキ廿前
ヲ中ヲ人トヲラヌヤウニタカツキノツメヲア
ハセタルカコトクカタク十前ニテ二行ニスフ

ヘシ人一人マヘニ一本ナルバフヒシヒロク
フヘシ



ヲヒサカナ三獻内

ハシメノ一獻ニクテウチアハヒ
次ウチミツキ時ノ羨物

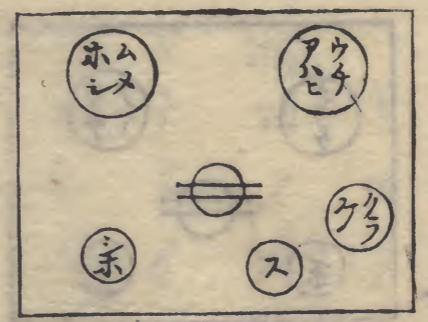
サテ三獻ヲハリテトリアケテ饗ラスウ

一 公事ノ時ノ式ノサカナ

イリマヌワリカツラ

本所藏人所ノ初參諸家ノ吉書カクノ如シ

一 武家ノサカナノスエヤウ



兼久以後武家ノ者ノ様ヲミルニ如此梅子ハ僧家ノ者也而ラ俗家ニ用ラル、事如何若漢土ノ作

法欽漢土ニ鳩ト云鳥アリ其鳥ノ羽ノ拘入ツル
 酒ヲ鳩酒ト云此酒ヲ飲ツレハ必死スト云、其
 藥ニ梅子ヲ用ル而ラ若敵アリテ鳩酒モヤス、
 ムルトハシノ臺ニ梅子ヲ一置ト云々而ニ日本
 ニハ鳩酒ナシ彼梅子ヲ者ニスフヘキナリトモ
 上ニスフル事如何式ノサカナニ精進ヲモチイ
 ル事イリ豆ノ例欽緞梅子ヲス_居フヘキナリトモ
 クラケ_等ヲスヘラレタル所脇ニス_居フヘキカ予元
 日ノワウハンツトメタリシハサソスヘタリシ
 ムメホシノ所ニクラケヲトリカヘタリ

一ハシニテサカナクハサルヤウ
 昔堀川右大臣頭房ノ御子息國信ノモトヘカク
 タカヘノタメニワタラレタルニ御新ヲマイラ
 セタルニハシラスエテ汁ヲ御新モナラスニヨ
 リテス、メ申ニ御返事ニサカナクハコソテ
 ニテハナラメト御返アリト記録ニミヘタリ
 一貴人御前ニテ酒ノ事
 大政大臣師長崇徳院ニ被召給テ御前ニテサケ
 一盃ノタヒ舞蹈ニ盃ニ嘉辰令月ト詠セサセ給
 三盃ニ酔テ守重左衛門尉ノ時鳥羽院ノ御マヘ

ニテシ井ヲサカナニテ御酒ヲ給タリケルハシ
 井ヲカイツカミテシクトカミテカ子ノ御ヒ
 サケナカラカクフケテ後ニ御ヒサケヲハ狩衣
 ノフトコロニ懷中シテケリ
 スヘテ貴人ノ御前ニテ酒ヲタマハレルニ
 ハサカナヲクフヘカラス但時ノ珍物ナト
 ニテモカケヌヲカヘリテ法ナシテニトリ
 テスコシハクフヘシスヘテサカナヲハシ
 ニハサンテ貴人御前ニテクフ事セ又事也
 又若ハ内々納涼ノ時ハ子細ナシ

一 食事ノ様

サ子アラン物ヲハフトコロニセヨト云ナリス
ヘテハレニモケニモ般置臺ノウヘニマサナケニ
クヒチラス事ハスマシキ事也物一モ盤臺ニコ
ホシチラスヘカラスサワクトクフヘシ菓ヲ食
シテサ子皮イタシキニモ庭ニモナケチラス事
ハウタテキ事也主君ノ御前ナントニテハスコ
シモチラスシテタ、ウカニニモ取入テ立ヘ
シサシモナカラシ取ニハヒト、コロニシラク
ヘシ將門カユラノミノコシタルヲニハニシヤ

一 貴人ノ御前ニテマセクタモノ食スル事

クトステタリケルヲハ玉相ナシトハシリケリ
ユラノミノコシテ庭ニスツル事ハ心ヲトリス
ル事也又主君ノ前ニメシチラシタラム物ヲハ
陪膳ノ物ワサトヒタラストモ便ニニトリテス
ツヘシムナシキ折敷杯物ノクツナントツモラ
スヘカラス
餅ハムサクシサクハヤサクシカウシタチ
ハナクリカキハサ子カハムツカシヲコシコメ
ヲ可食云々

一ワタイリ可食事

後鳥羽御宇ノ水無瀬殿ニテ卿相雲客ノ中ニテ
供御ノマイリシニ仰ニイハク飯ヲ汁ニツケス
サキニシルノミヲクヒシルヲス、ル事ハマサナキ
事也タ、シワタイリヲスヘタルヲクハヌハハ
シニテシルノモクイタルヨリモソクヤウニテ
アル事ナリスエハテハサウナク、ウヘシ又女
房ト帳臺ノ上ナトニテ食スル時クハヌハヤナ
キノハムサウナリト仰アリキ

右一卷之内自别足至七種粥七ヶ條紛失早
求他本可寫加者也

古書俗臣要集以任勢貞春本校合

卷之三十五

十一